

# 群れ飼育のチンパンジーで観察された子の発達に伴う母子間距離の変化

有賀菜津美<sup>1</sup>, 平賀真紀<sup>2</sup>, 村田浩一<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>日本大学野生動物学研究室, <sup>2</sup>よこはま動物園ズーラシア



## はじめに

霊長類の発達研究の多くは、母子間距離や乳首接触行動などを指標としている。飼育下チンパンジー (*Pan troglodytes*) に関してもこれらの指標を用いた研究が行われ、7ヶ月齢で母子の接触が減少し始めるという報告がある (Miller, 1981)。しかし、これまでの研究は主に隔離飼育された母子を対象としており、群れ内での子の発達に伴う観察例は少ない。そこで本研究では、複雄複雌群の飼育下チンパンジーを対象として、群れ内での母子間距離の変化を明らかにすることを目的とした。

## 方法

### 対象個体

よこはま動物園ズーラシアで飼育されているチンパンジー母子2組

### 表1. 個体情報

個体名	性別	生年月日	母親	産歴
フク	メス	2012年1月20日	サチコ	4
マリモ	メス	2012年9月5日	タマエ	2

※他にオトナオス2個体、オトナメス3個体を同じ展示場で飼育している

### 調査期間

2012年7月～2013年9月

### 観察開始月齢

フク: 生後5ヶ月齢、マリモ生後0ヶ月齢

### 表2. 期間情報

2012年1月	7月	9月	2013年9月
フク誕生		マリモ誕生	
→ 観察期間 →			

### 観察方法

14時～16時(120分間)  
 デジタルビデオ (SONY HDR-CX590V)  
 (来園者と同じ場所で、ガラス越しに撮影)

### 屋内展示場

展示場のサイズ  
 幅8.05m × 奥行4.95m × 高さ4.5m  
 設置物: 擬木の構造物  
 ロープ  
 おがくずorわら  
 ハンモック(8月)

### 観察項目

母子間距離

「母子が接触している」「母親の手が届く距離」「母親の手が届かない距離」  
 0m                      0～2m (0 < x < 2)                      2m以上 (2 ≤ x)



## 結果

### フク

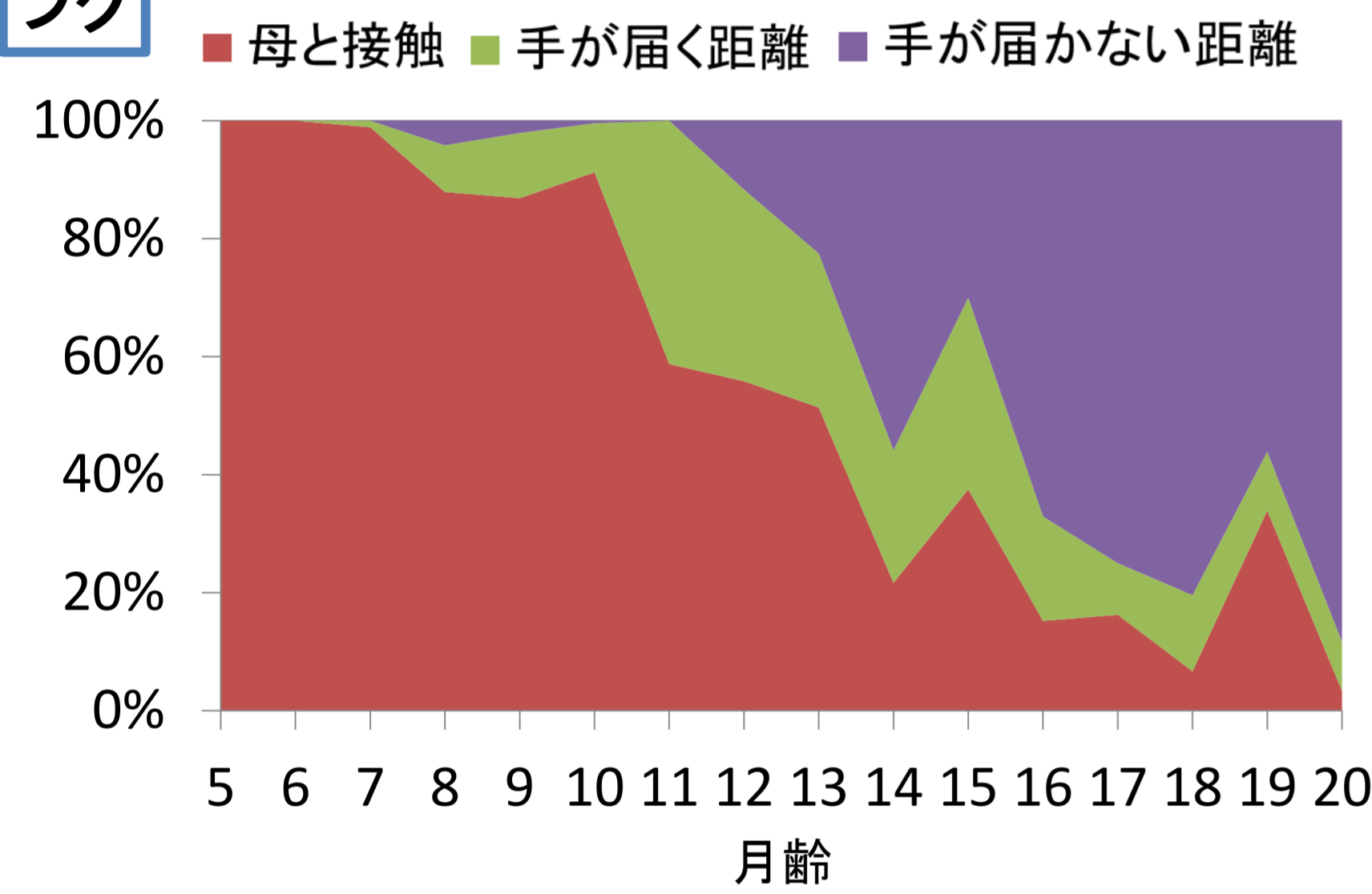


図1. 母子間距離

母子が接触している割合は、7ヶ月齢までは平均99%であったが、13ヶ月齢には約半分(51%)となった。

母の手が届く距離の割合は8ヶ月齢で増加し始め、11ヶ月齢で最大の41%となった。

手が届かない距離の割合は、12ヶ月齢から年齢にともなった増加がみられ、20ヶ月齢の時点で観察時間の88%を占めた。

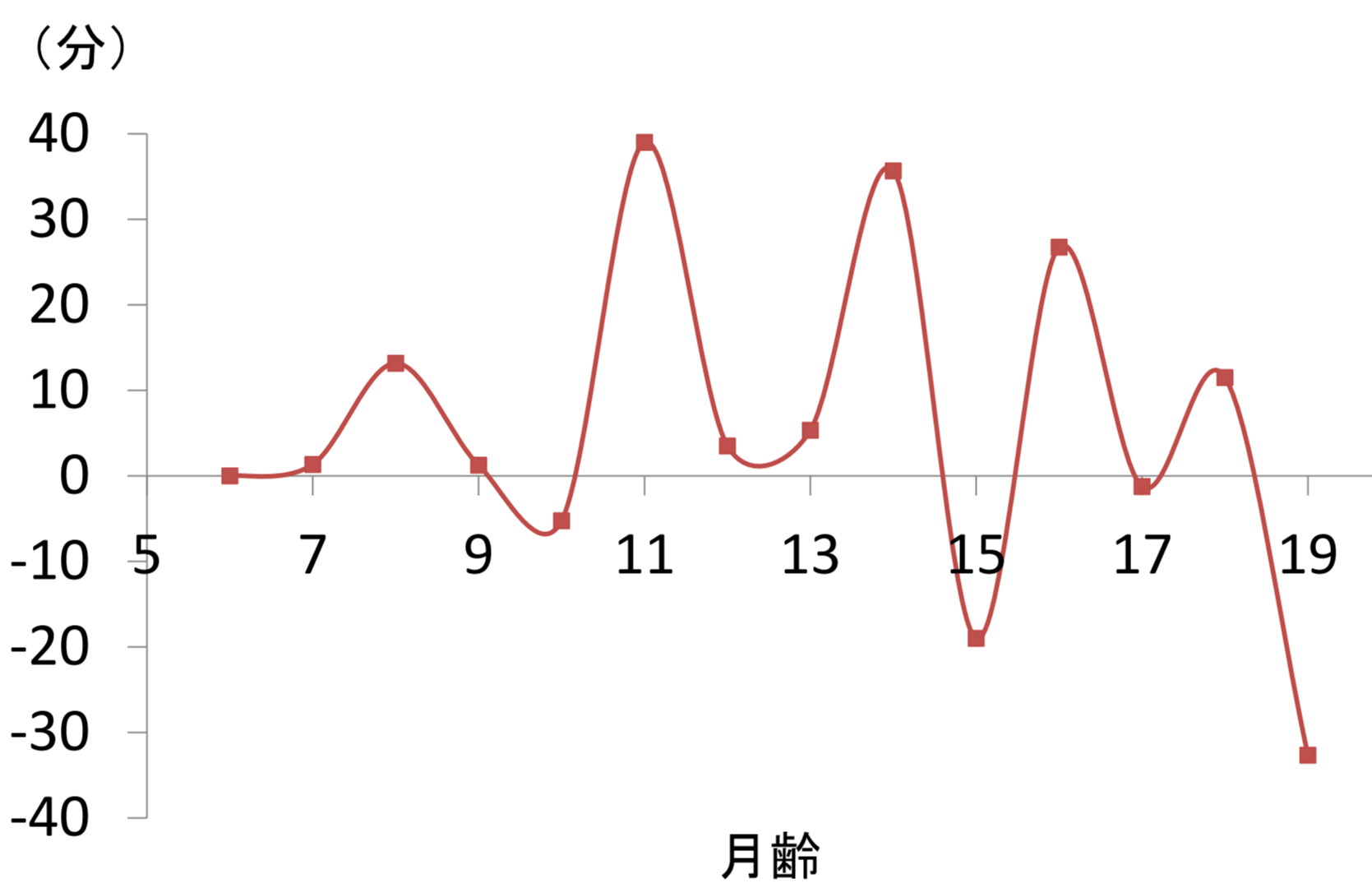


図2. 母子が接触している時間—前月からの差—  
 前月からの誤差が、最初に大きくなるのは8ヶ月齢であった。その後、11ヶ月齢や14ヶ月齢で大きな差がみられた。

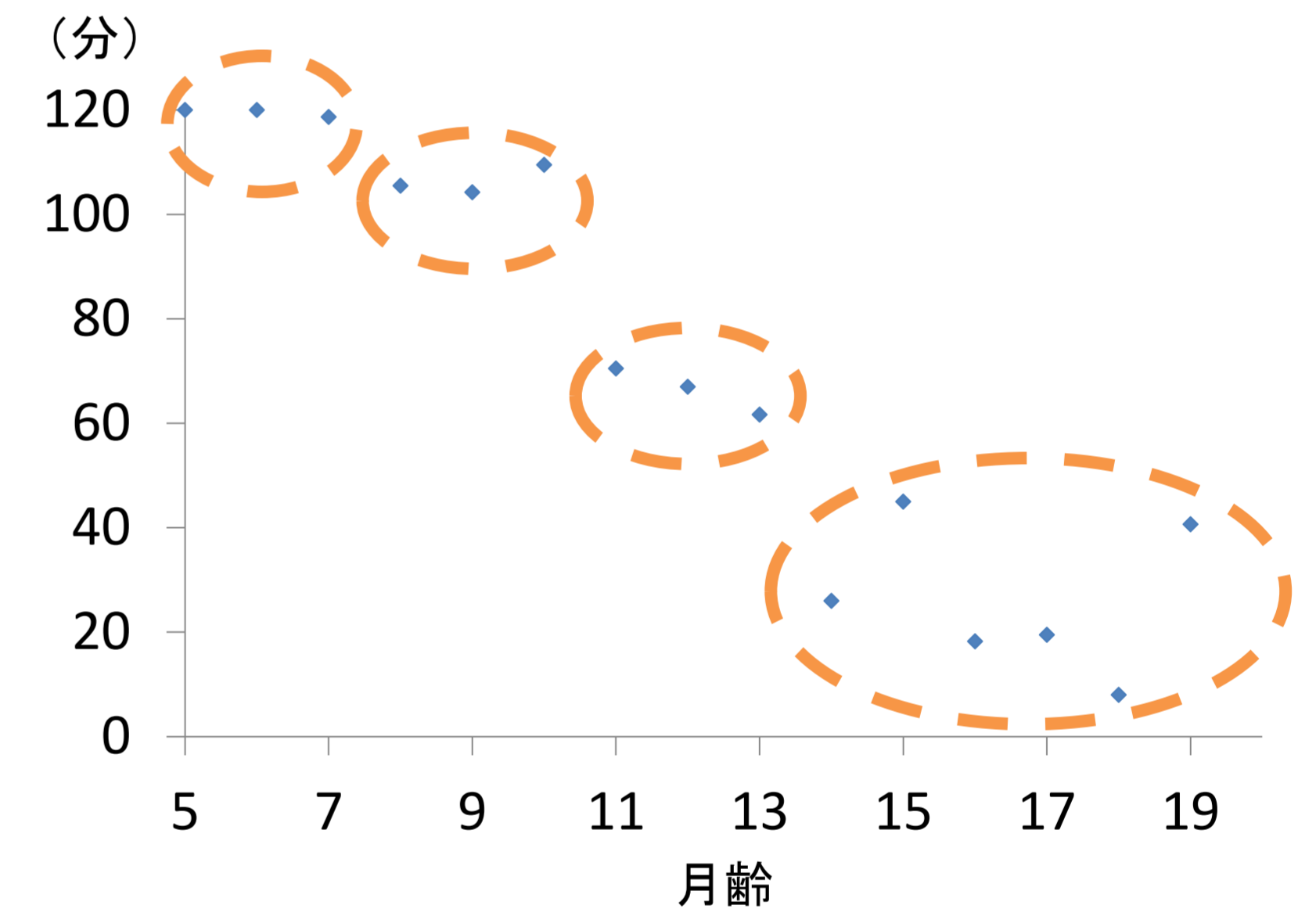


図3. 母子が接触している時間  
 母子の接触時間に、4段階の変化がみられた。I期は5～7ヶ月齢、II期は8～10ヶ月齢、III期は11～13ヶ月齢、IV期は14ヶ月齢～であった。

### マリモ

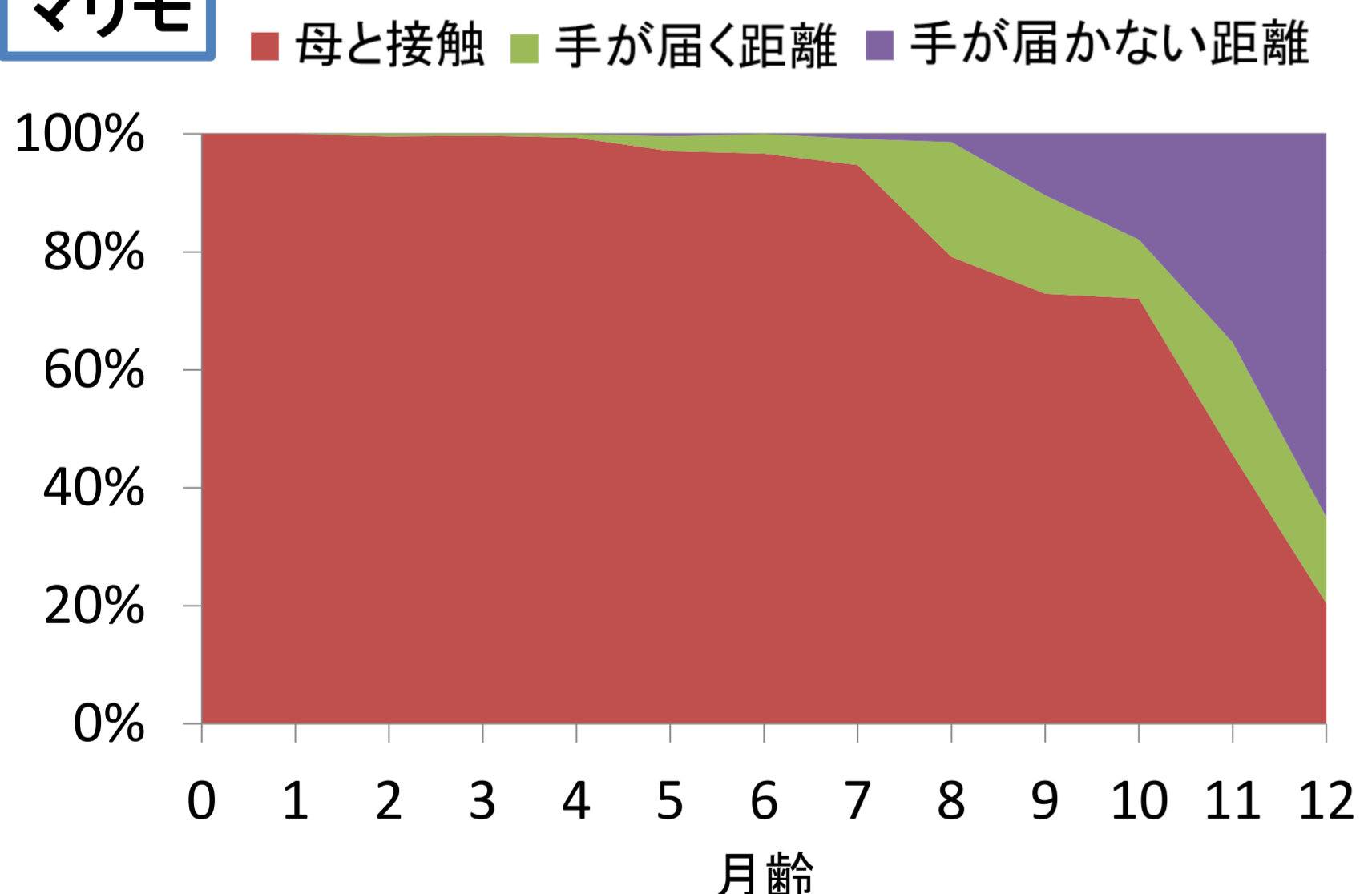


図4. 母子間距離

母子が接触している割合は、7ヶ月齢までは90%以上を占めたが、11ヶ月齢には約半分(46%)となった。

母の手が届く距離の割合は、4ヶ月齢以降増加し、8ヶ月齢で最大の19%を示した。

手が届かない距離の割合は、9ヶ月齢の10%から徐々に増加し、12ヶ月齢の時点で35%を示した。

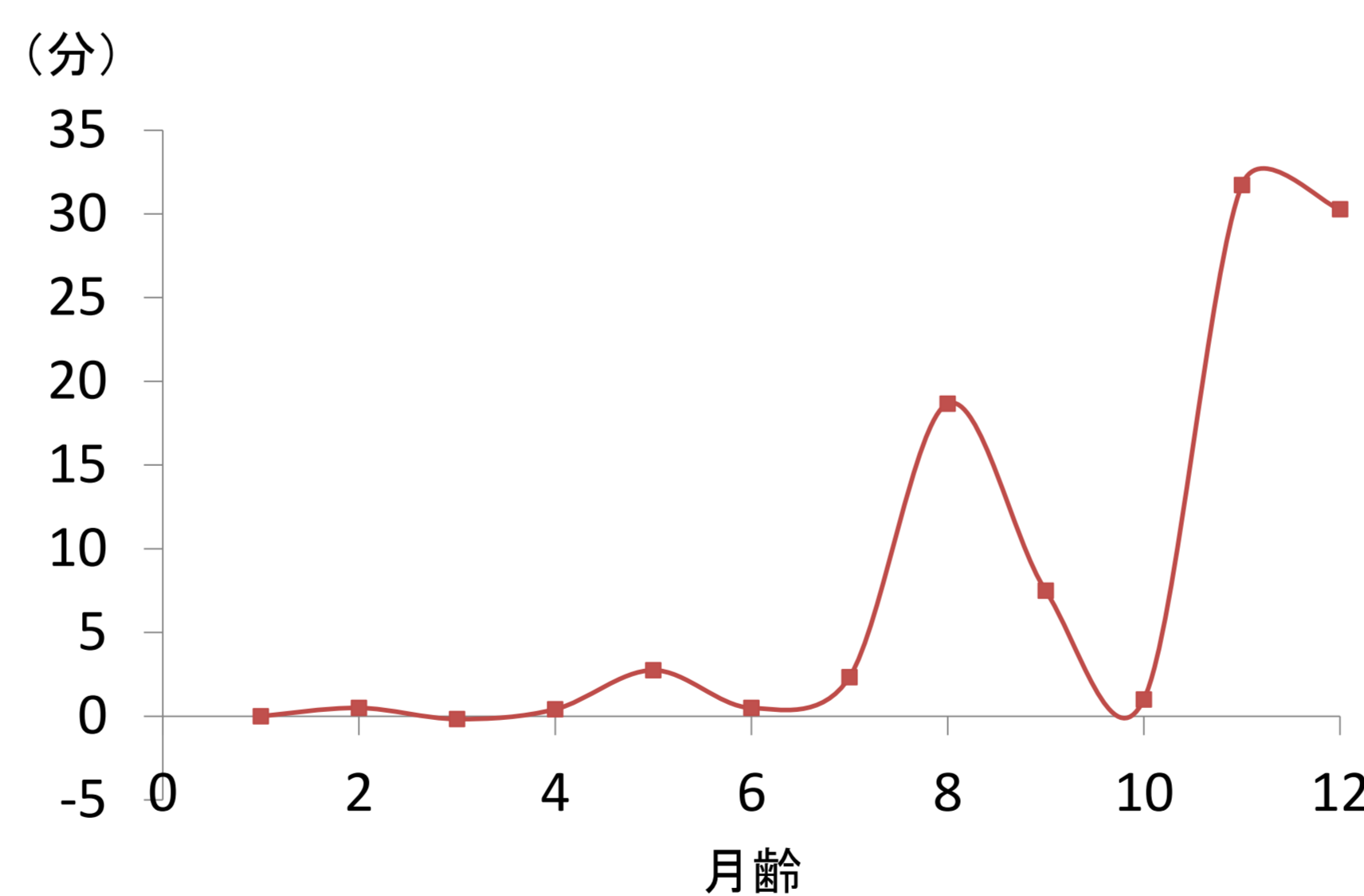


図5. 母子が接触している時間—前月からの差—  
 前月からの誤差が、最初に大きくなるのは8ヶ月齢であった。その後、11ヶ月齢、12ヶ月齢で大きな差がみられた。

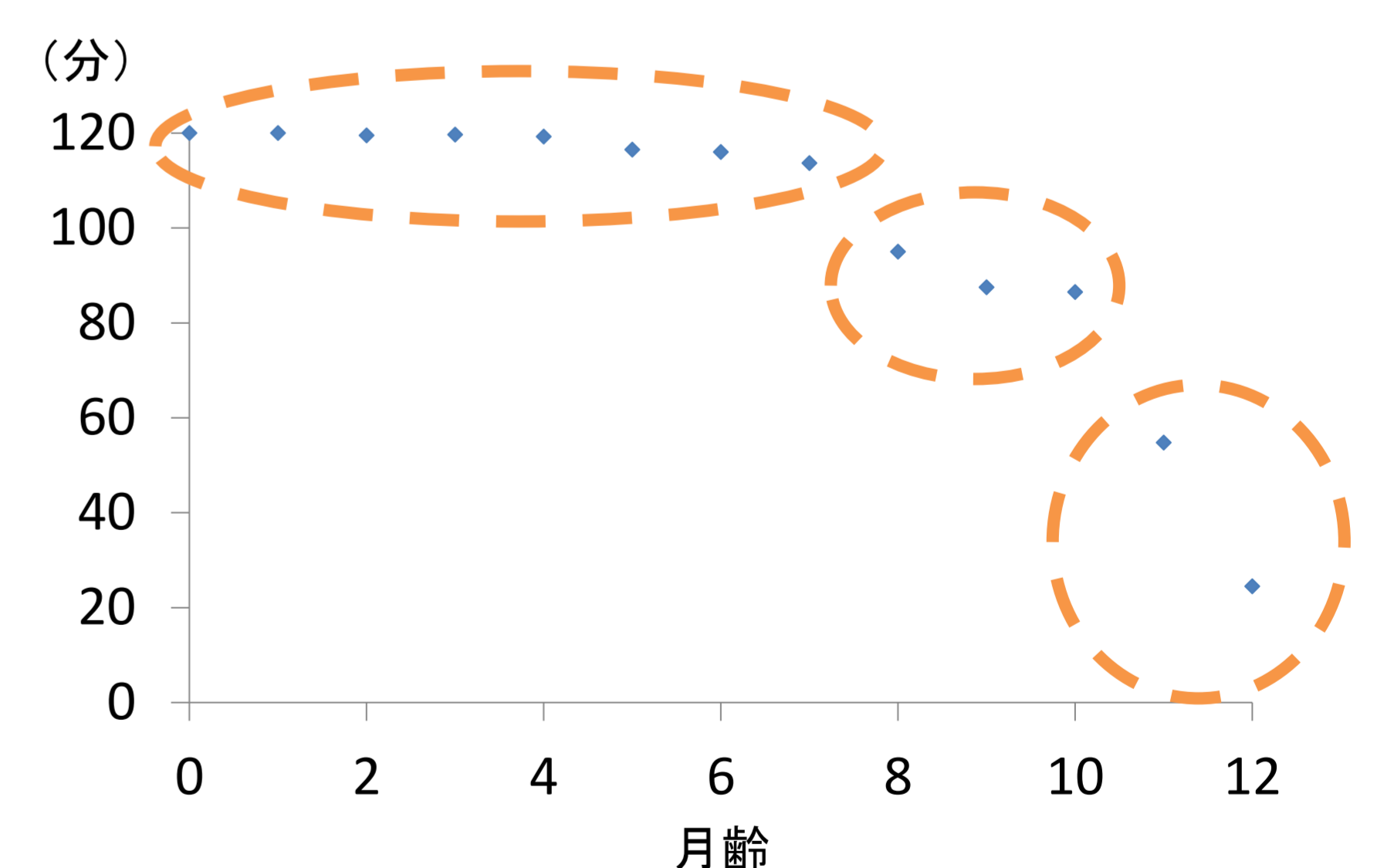


図6. 母子が接触している時間  
 母子の接触時間に、3段階の変化が見られた。I期は0～7ヶ月齢、II期は8～10ヶ月齢、III期は11ヶ月齢～であった。

## 考察

8ヶ月齢と11ヶ月齢の個体で、前月に比べて急激に母子の接触割合が減少したことから、母子の離れが「起こらない時期」「起こり始める時期」「頻繁に起こる時期」「頻度が一定になる時期」の4段階があると考えられた。また、隔離飼育された母子間の接触割合が7ヶ月齢より減少し始めるとする先行研究に比べると、本研究対象個体は1ヶ月遅かった (Miller, 1981)。これは群れ内における他個体の存在が影響したのではないかと考えた。

## 謝辞

今回観察するにあたり、よこはま動物園ズーラシアの方々のご助力をいただきました。ここに厚く御礼申し上げます。